

# 救急基金だより

1分1秒を争う、いのちのために  
救急基金

- 救急基金の歩み
- 寄附金募集事例紹介
  - ・吉川松伏消防組合消防本部
  - ・長崎市消防局
  - ・足柄消防組合消防本部
- 平成15年度救急基金会計の決算
- 平成16年度救急基金会計の予算



救急基金は、応急手当の普及など救急の振興のために活用されます。

財団法人 救急振興財団

## 救急基金の歩み

# 応急手当の普及へ向けて

救急救命士制度の発足とともに救急救命士の養成を目的として平成3年5月に設立された財団法人救急振興財団は、設立当初より9,747名の救急救命士を誕生させるなど、救急体制の充実及び応急処置による心肺停止傷病者の救命効果の向上に大きく貢献しています。

しかし、なお一層の救命効果の向上には救急救命士の現場到着前の一般住民による応急手当が重要であり、また、そのような応急手当の習得の要望も高まっています。

そこで、こうした課題に対処するために、財団法人救急振興財団では平成4年より、皆様から寄せられた寄附金を基金として積立て、その運用益を用いて応急手当

講習会で使用する資機材の寄贈や応急手当の普及など、救急の振興に役立つ事業を行っています。

### 事業の概要

＜平成5年度～平成8年度＞

住民の要請に応じて消防機関が派遣する応急手当指導員を養成する為の講習会の開催

＜平成9年度＞

寄附金募集用のポスター及び救急基金箱の作製

＜平成10年度～平成16年度＞

消防機関が住民向けに行う応急手当講習会で使用する資機材の寄贈。



## 皆様の寄附で購入しているもの



平成10年度より、皆様から寄せられた救急基金の運用益にて、

- ・心肺蘇生訓練用シミュレーター
- ・応急手当講習テキスト
- ・住民配布用の救急絆創膏
- ・応急手当リーフレット付感染防止用シールド

等を寄贈させていただいております。

これらは、各消防本部に寄贈され、一般住民向けの救急救命の講習会や指導資料として活用されています。

\*過去の救急基金だより（NO.1～NO.5）につきましては、救急振興財団のホームページ（<http://www.fasd.or.jp>）の 救急基金 の項目の中に掲載してございます。

## 吉川松伏消防組合消防本部

埼玉県東南部に位置する吉川松伏消防組合消防本部は、吉川市と松伏町の1市1町で構成されています。吉川市は、東は江戸川を隔てて千葉県野田市と流山市に、西は中川を境に越谷市と草加市に、南は三郷市に、北は松伏町と接して、

あるが、江戸川沿いの地域は若干高台になっています。応急手当の普及、救急基金の募集において、日頃より非常に熱心に活動されております。

特に応急手当を広めるにあたり、救命講習の普及のため、女性も含めた専任チームを設けて管内各所において講習を実施して、応急手当の普及啓発を行っています。

その一例としては、管内全中学をアプローチして中学2年生を対象とした、授業への救命講習の取組みや、5人以上の受講希望者に対して「出張講座」という名目での出張講座の実施等があります。また、こうした普通救命講習や出張講座の案内を管内のスーパー等でパンフレット、風船等を配布することにより、管内の住民に広範囲に浸透させ、応急手当の普及啓発を積極的に進めています。

また、救急基金についても、既に設置している募金箱に加えて、消防フェア等開催時に設置する模擬店の売上の一部も基金に寄附して頂いています。

このような日々の普及啓発活動に敬意を表しますとともに、今後も益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



ほぼ平坦な地形となっています。一方、松伏町は、東は吉川市同様、江戸川を隔てて千葉県野田市に、西は古利根川を境に越谷市と、南は吉川市に、北は春日部市と庄和町に接して、地形は概ね平坦で



## 足柄消防組合消防本部

足柄消防組合は、神奈川県西部に位置し、西丹沢山麓、丹沢湖等の観光施設を有し、あわせて新設企業の進出による大規模工場施設等があり、自然環境と都市的機能に非常に恵まれた地域です。平成12年に南足柄市消防本部と足柄上消防組合消防本部とが合併されたことに

一方この地域は、神奈川県西部地震が発生すると大きな被害が予想される地域であって、地域住民はこの県西部地震等の災害に対する危機意識もあり、自治会等での連携の強化、応急手当に対する関心も非常に高くなってきています。

こうした環境から、管内での普通救命講習は、地域の自治会単位での参加が多く、消防本部からの呼びかけがなくても住民からの受講希望があります。管内の各大規模工場においても、同様に応急手当に対する関心が高く、専門部署が設置されている箇所等では企業側担当者が既に高い技術を習得している場合もあって、訓練人形のみを貸し出すといったことも行っております。

救急基金については、これまで個別に基金箱の設置による寄附金の募金活動はなかったものの、今般設置協力を快諾して頂き、今後はこの基金箱を救命講習時に持参する等により、さらなる寄附金への寄与も期待されています。今回寄贈させて頂いた資機材等の活用も併せて、さらなるご発展をお祈りいたします。



より、管内は1市5町で構成され、現在その面積は県下で横浜市に次ぐ2番目の広さとなっています。

また、東名高速道路、国道246号線を抱えており、交通事故による救急出動件数が比較的多い地域です。



## 寄附金募集事例紹介

# 長崎市消防局

九州の北西部に位置する長崎市は古くから港町として知られ、江戸時代には出島を中心に海外文化の唯一の窓口として栄えてきました。そんな長崎市と近隣3町の安全を見守るのが長崎市消防局です。

長崎市は「坂のまち」としても有名なように斜面地や車道の狭い道が多いため、救急車が到着するまでに時間を要する地域が多くあります。その為、消防局では身近な家族が救急車到着までの間に応急手当を行えるよう、バイスタンダーの養成に力を注いでいます。



市民からも講習会の実施を望む声が多く寄せられており、主に婦人防火クラブや自衛消防隊連絡協議会などの団体や学校を中心に応急手当講習会を実施しています。特に学校での講習会ではPTAや父兄を中心に熱心に参加いただき応急手当を体験してもらっているそうです。また長崎市では昭和57年に多大な被害を出した長崎大水害の教訓から応急手当講習を受けた市職員を避難所に常時配置しています。

消防局では、一般の普通救命講習以外にも独自で考えた「救命講習会」を実施しています。この講習は消防局で作成し

た応急手当の方法を簡単にまとめたパンフレットを使って2時間で応急手当や火災の対応についても学べるもので、参加者からもわかりやすいと好評だそうです。

講習会の他にも、消防局のホームページに実際に救急隊員がお手本となって応急手当を行なっている写真を掲載して、応急手当の方法を広めています。

(<http://119.city.nagasaki.nagasaki.jp/>)

iモード版

(<http://119.city.nagasaki.nagasaki.jp/i.htm>)

救急基金は長崎市内の5ヶ所の病院にご協力いただいて基金箱を設置しているとのこと。募金は主に救急車にお世話になった患者さんやご家族の方から寄せられているそうです。

このように長崎市消防局と地域の皆様に応急手当普及に多大なご協力をいただいたことに感謝の意を表し、今回寄贈させて頂いた資機材等、応急手当の普及にご活用いただければ幸いです。



## ■平成15年度救急基金会計の決算（単位：千円）

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
<b>I 収入の部</b>			
1 寄附金収入	2,000	1,541	459
2 救急基金運用収入	676	667	9
3 雑収入	1	0	1
当期収入合計 (A)	2,677	2,208	469
前期繰越収支差額	350	349	1
収入合計 (B)	3,027	2,557	470
<b>II 支出の部</b>			
1 事業費	775	606	169
2 救急基金積立支出	2,000	1,541	459
当期支出合計 (C)	2,775	2,147	628
当期収支差額 (A) - (C)	△98	61	△159
次期繰越収支差額 (B) - (C)	252	410	△158
※平成15年度末救急基金残高	164,524,675円		

## ■平成16年度救急基金会計の予算（単位：千円）

科 目	予 算 額	前年度予算	増 減
<b>I 収入の部</b>			
1 寄附金収入	2,000	2,000	0
2 救急基金運用収入	663	676	△13
3 雑収入	1	1	0
当期収入合計 (A)	2,664	2,677	△13
前期繰越収支差額	331	350	△19
収入合計 (B)	2,995	3,027	△32
<b>II 支出の部</b>			
1 事業費	760	775	△15
2 救急基金積立支出	2,000	2,000	0
当期支出合計 (C)	2,760	2,775	△15
当期収支差額 (A) - (C)	△96	△98	2
次期繰越収支差額 (B) - (C)	235	252	△17

皆様からの寄附金は、消防本部等に設置された救急基金箱によりお寄せいただいております。救急基金箱に関するお問い合わせは下記あてにお願いいたします。

救急基金だよりNo.6 [編集・発行] 財団法人救急振興財団事務局総務課  
 〒192-0364 東京都八王子市南大沢4-6 ☎ 0426-75-9931  
 FAX 0426-75-9050